

発見かんづま

—北から南から—

神埼清明高校 多くの地域リーダーを輩出してきた伝統校。

今注目は「そう?めんパンだ!」

神崎市は江戸時代から麺業の盛んな町。特に神埼ソーメンは全国区。このソーメンを製品化する際に出る切れ端などの再利用に着目し、パン作りに挑戦したのが地元神埼清明高校食品化学系列食品製造部門の生徒さんたち。江口先生の実技指導のもと、パン作りの基本を学び「そう?めんパンだ!」を完成させた。生徒の創造力が生み



出した、弾力性ともちもち感のある本当に若々しいパンに仕上がっている。クラブ活動の中から創作されたこのパンは地場特産品として大きく飛躍することが期待される。



(左から) 江口先生、徳永ひかるさん(2年)、西川里奈子さん(2年)



委員 白石 昌利
委員 内村 夏生
委員 福田 清道
委員 田原 和幸
委員 内田 良治
副委員長
広報委員

国では、政権交代で、政治のあり方・国と地方の関係・公共事業のあり方等々が議論され、日本の行く末がどうなるのか、国民全体の最大の関心事と思う。もちろん、市においても国の方針によっては直接影響を受けることから、注視すべきことである。これから、更に地方分権が進められ、市政のあり方については、自治体としての責任が更に重くなり、住みやすいまちづくりのため、市民全体での活発な議論で、市政を見直す機会でもあると思う。我々議会においても、その重みを痛感し、政策提言等に今以上に真剣に取り組むべきと考える。市民皆さまのご意見・ご要望を!! 《内村夏生 記》

編集後記